科目コード	記号	科　目　名			
2014	BG35	法学：Law			
教　員　名		中山修身：NAKAYAMA Osami			
学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
4B	1・100分	必修	講義・前期	学修単位	

授業概要	
	授業担当者は法律事務所を開業している。そこで，判例六法を教材として用いながら，実際の法の運用事例を紹介・解説することに主眼をおく。これらの作業を通して，受講生一人ひとりに，一般社会人として必要な法的知識と法的なものの考え方を身につけてもらえるように工夫したいと思う。

到　達　目　標	評　価　方　法
(1)法律的なものの見方が理解できる。 (2)日常生活の中で，法律的な問題を把握できる。 (3)他人や他国の立場からも物事を考慮できる。	評価方法は，①定期試験，②数回のレポートの成績を総合評価する。評価配分は，①70%，②30%とする。

学習・教育目標	(F)③④	JABEE基準1(1)	(a)

前　期

授業計画

回	項　目	内　容
第1	導入授業	シラバスの説明と講義の進め方，法学の勉強の仕方について解説する。
第2	司法現場の紹介	法曹関係の仕事内容について紹介する。
第3	判例研究	教科書から適当な判例を選び，解説をする。
第4	同　上	同　上
第5	同　上	同　上
第6	同　上	同　上
第7	同　上	同　上
第8	同　上	同　上
第9	同　上	同　上
第10	同　上	同　上
第11	同　上	同　上
第12	受講生の要望に応える	受講生が興味をもつ法的な問題を採り上げ。法の実際の運用事例や課題等について，質疑応答を行う。
第13	同　上	同　上
第14	同　上	同　上
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また，授業評価アンケートを行う。

関連科目	現代社会，その他の社会科関連科目
教　科　書	有斐閣判例六法(平成20年度版)
参　考　書	
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。
副担当教員	
備　考	